

V60

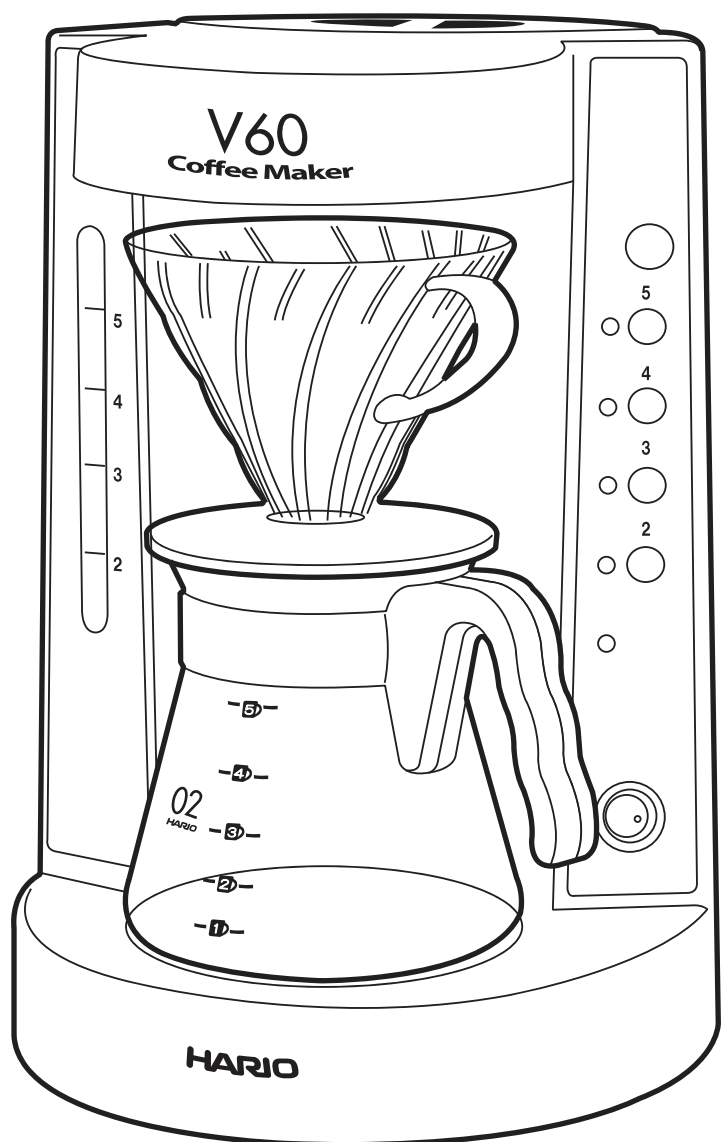
Coffee Maker

HARIO

[家庭用]

V60 コーヒーメーカー EVCM-5 (2 ~ 5 杯用)

V60 円すい型 ペーパードリップ式



特許申請中
AC100V 仕様

EVCM-5 説明書 1208

取扱説明書

保証書付

お買いあげ誠にありがとうございます。正しくご使用していただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。また、本書は保証書が付属しておりますのでお読みになりましたら、大切に保管してください。

もくじ

特長 1

安全上のご注意 4

各部の名称 7

初めて使うとき 8

ご使用方法 9

お手入れのしかた 12

ガラス製サーバーのお取り扱い 13

アフターサービスについて 13

故障かな?と思ったら 14

保証書・仕様 裏表紙

特長

追求したのは「ハンドドリップ」の美味しさ。

「V60」ハンドドリップ・コーヒーの味をご家庭で簡単に。そして、どなたでも。

コーヒー器具のハリオは、V60円すい型ドリッパーを発表して、世界中のコーヒーを愛する人々に高い評価をいただいています。

V60コーヒーメーカーは、ハリオ独自の杯数に応じた「蒸らし」機能、おいしいコーヒーの条件である、「高温抽出」システムにより、かぎりなくハンドドリップの味わいを追求しました。

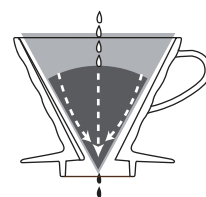
いつでも安定抽出できるから、V60ハンドドリップで淹れたような美味しいコーヒーを、ご家庭でお手軽にお楽しみいただけます。



●V60 ドリッパーの特長●

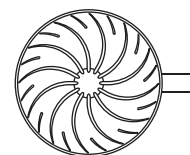
円すい形

コーヒー粉の層が厚くなり、お湯が中心に向かって流れることによりコーヒー粉に長く触れ、コーヒー粉の成分をしっかりと抽出します。



大きな一つ穴

ドリッパーの底面に大きなひとつ穴を開けました。大きな穴からペーパーの先端が出ることで、注がれたお湯がドリッパーからの制限を受けることなく、よりネルドリップに近い抽出ができます。



スパイラルリブ

"蒸らし"の際の珈琲粉の膨張を妨げない高いリブ。ペーパーとドリッパーの密着を防ぎ空気が抜けることでコーヒー粉がしっかりと膨らみます。



※同梱のドリッパーは樹脂製です。

おいしいカタチは「円すい形」

V60 Coffee Maker



コーヒー通が求める機能がここにある。

新世代「蒸らし」機能

2杯～5杯までの杯数に応じた蒸らし機能を搭載。ハンドドリップで淹れるときの「蒸らし」をマシンが再現します。蒸らしの湯量・時間・温度・注湯方法(21穴)にまでこだわった機能で、コーヒーの旨味を引き出します。

高温抽出 93℃

おいしいコーヒー抽出の条件はお湯の温度です。最初の蒸らしから抽出まで一貫して高温を維持する高温抽出システムにより、最適な抽出温度である93℃前後でのドリップを可能にしました。

V60 円すい型ドリッパー

世界中で評価されているハンドドリップのV60ドリッパーを採用。独自のノウハウで設計されたドリッパーで、よりネルドリップに近い味わいのコーヒーをお楽しみいただけます。

珈琲王®

21穴抽出口

コーヒーメーカーでは多孔である21穴の抽出口。コーヒー粉全体に柔らかくお湯をかけます。

独自の高温抽出システム

コーヒーメーカーではどうしても低い温度になりやすい最初のお湯の温度を、独自の高温抽出システムにより、高温に保ちます。タンク内の水が、循環しながら65℃まで温められた後、ヒーター部を經由し抽出口へ。抽出口から出るお湯は95℃前後の高温となり、ドリッパー内では93℃前後の適温でドリップされます。このシステムにより、ハンドドリップの「一湯目」に近い「蒸らし」を可能にしています。

世界のカフェで話題の「V60」ドリップ ✈️



V60 ドリップは世界の最新カフェでも採用され、コーヒー関係者の間でも注目のドリップ・スタイルです。



世界中でコーヒーの新たなムーブメントが起きています。

欧米ではもともとコーヒーを淹れるのに電気コーヒーマシンを使うのが主流。しかし最近になって若い人達の間で、手で淹れる「ハンドドリップ」が見直され始めています。アメリカやヨーロッパを中心に、各地で新しいスタイルのカフェがオープンし、独自の淹れ方でコーヒーを楽しむ人が増えています。



ハンドドリップの大会であるブルーアーズカップでは選手達が良質の豆で、よりおいしく、よりオリジナリティーのある淹れ方でコーヒー抽出を競い合います。彼らが日々磨いてきたテクニックを発表しあう事で、今日のコーヒーブームを盛り上げています。

安全上のご注意

警告マークについて

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しています。このマークは、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示してある事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
例  感電注意	△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の例では感電注意）が描かれています。
例  分解禁止	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。マークの中やマークに隣接する文章に具体的な禁止内容（左図の例では分解禁止）が描かれています。
例  電源プラグをコンセントから抜いてください  指示を守ってください	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください/指示を守ってください）が描かれています。

愛情点検

長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を



こんな症状はありませんか
●電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
●電源コードに傷がついていたり、通電したりしなかったりする。



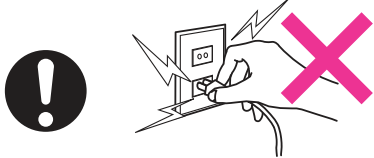
このような症状のときは、事故防止のため、使用を中止しコンセントから電源プラグを抜いて、販売店に点検をご相談ください。

安全上のご注意

電源プラグ・コンセントについて

⚠ 警告

交流100V以外では使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。



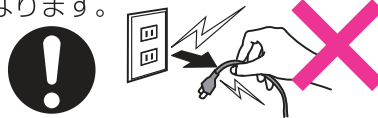
電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となります。修理は販売店または弊社ご相談窓口までお問い合わせください。



電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因となります。傷んだプラグや緩んだコンセントは使わないでください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電・ショート・発火の原因となります。



定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。



電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除いてください。プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。



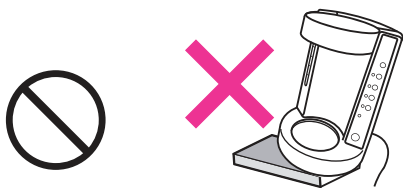
コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因となります。



設置場所について

⚠ 警告

不安定な場所では使用しないでください。けが・故障の原因となります。



⚠ 注意

長時間直射日光が当たる場所、ペットなどが通る場所、浴室などの湿気の多い所では使用しないでください。本体の変形、故障、事故、火災の原因となります。



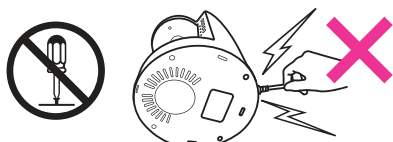
壁や家具の近くでは使わないでください。また、上にモノを載せて使用しないでください。熱や蒸気による変色・変形の原因となります。収納棚などの中で使用するときは蒸気がこもらないように注意してください。



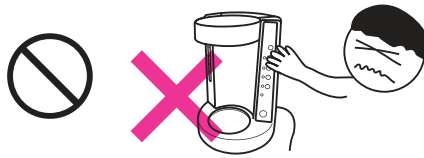
ご使用について

⚠ 警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。感電・やけどをする恐れがあります。



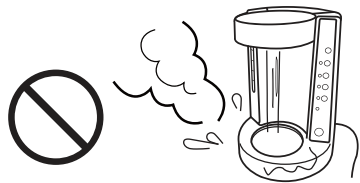
蒸気口付近に手や顔を近づけないでください。やけどをする恐れがあります。とくに乳幼児には触らせないようにご注意ください。



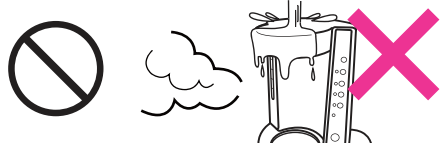
ご使用について

⚠ 警告

サーバーを外して使わないでください。やけどの恐れがあります。



本体を丸洗いしたり、水をかけたり、浸けたりしないでください。ショート、感電のおそれがあります。



強い衝撃を与えないでください。破損・故障・短寿命の原因となります。



使用中や使用直後は保温プレートやその周囲、サーバーなど高温になっている部分には触れないでください。やけどの恐れがあります。



サーバーを載せたまま本体を動かさないでください。やけどやけがの原因になります。



⚠ 注意

コーヒー粉を入れすぎないでください。50g以上のコーヒー粉をいれるとコーヒーがあふれてやけどすることがあります。



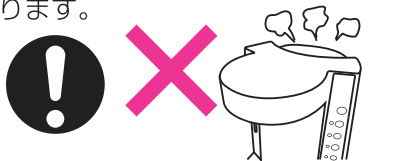
タンクに水道水以外のものを入れないでください。お湯、牛乳・コーヒーなどを入れないでください。故障の原因になります。ミネラルウォーターやアルカリイオン水などは内部に石灰分が付きやすいためお勧めできません。



水蒸気の発生により本体に水がついたときは乾いた布でふきとってください。（タンクの入り口周辺/抽出口付近など）



加熱中はフタを開けたり、差し水をしたりしないでください。高温の蒸気による、やけどの原因になります。



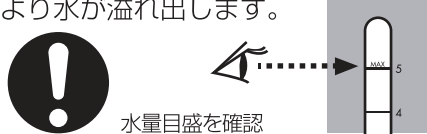
続けてコーヒーを抽出するとき、電源を切り5分以上待ってください。本体が熱いうちにタンクに水を入れるとタンクから蒸気が出てやけどのおそれがあります。



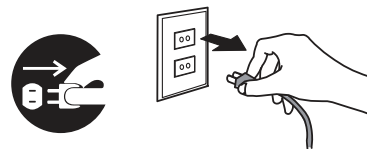
水タンクに水が入っていない状態で使用しないでください。空焚きになり故障・事故の原因となります。



水量目盛MAX「5」（750ml）以上の水を入れしないでください。入れ過ぎると背面のオーバーフロー口より水が溢れ出します。



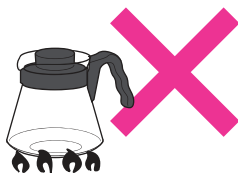
お手入れするときは、スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。



ガラス製サーバーについて

⚠ 注意

サーバーは火にかけないでください。



ガラスは割れるものです。洗浄やご使用時はていねいにお取り扱いください。また、破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。



廃棄について

⚠ 注意

廃棄する際は、各自自治体の指示に従い分別してください。



各部の名称

■開梱したらご確認ください。

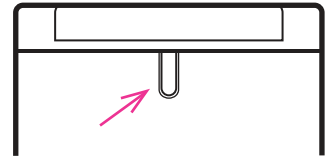
本体

△天面にモノを載せないでください。

水タンク フタ

△使用中はフタを外さないでください。

〔背面〕 背面に水タンクがあります。



オーバーフロー口

△タンクに水を注ぐ際、オーバーフロー口にかけないようご注意ください。

抽出開始ボタン

●運転を開始します。
●エラー解除する働きがあります。

蒸らしボタン

●杯数に応じた蒸らしを設定します。
●左のランプは抽出開始ボタンを押すと点滅します。

保温ランプ

●抽出後 30 分間点灯します。
●保温ランプが点灯中は、保温プレートが加熱します。

電源スイッチ

電源プラグ

電源コード

抽出口

△抽出中は熱い蒸気が出ますので、顔や手を近づけないでください。

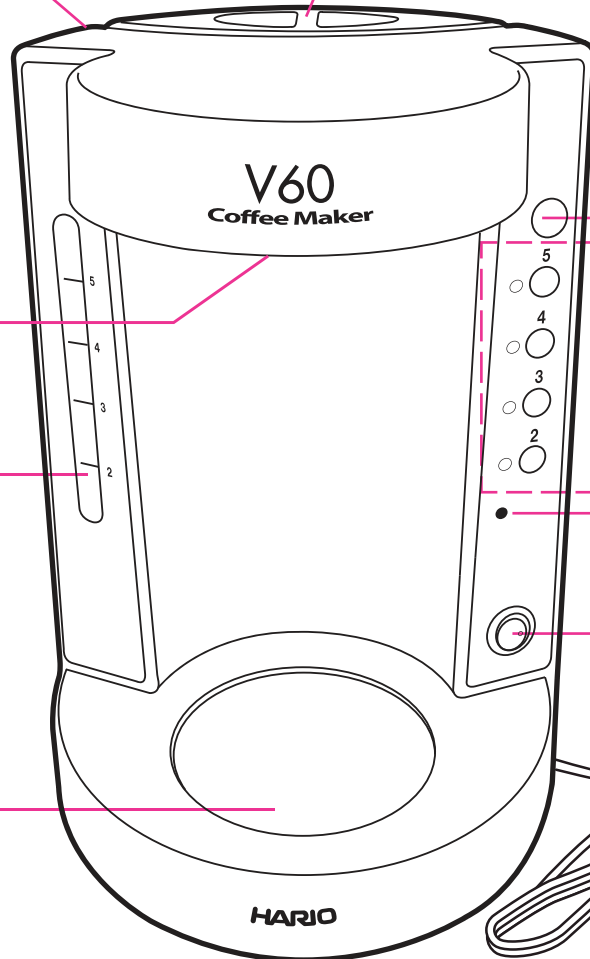
水量目盛

△MAX(5の目盛：750ml)以上は水を入れしないでください。

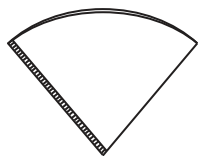
目盛	水量
5	750ml
4	600ml
3	450ml
2	300ml

保温プレート

△運転中や抽出後は高温になりますのでご注意ください。



同梱の付属品



V60 用 ペーパーフィルター 02W
(VCF-02-40W)
40 枚



V60 コーヒーサーバー 700
(VCS-02)
※P13「ガラス製サーバーのお取り扱い」



計量スプーン
(M-8)
コーヒー粉すりきり約 8g
材質：ポリプロピレン
※P11「計量スプーンについて」



V60 透過ドリッパー 02
クリア T
(VDT-02T)
材質：PCT 樹脂



ドリッパー受け
材質：ポリプロピレン

※製品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

初めて使うとき

■本体から取り外せる下記のものは水洗いしてください。

ドリッパー



サーバー



ドリッパー受け



計量スプーン



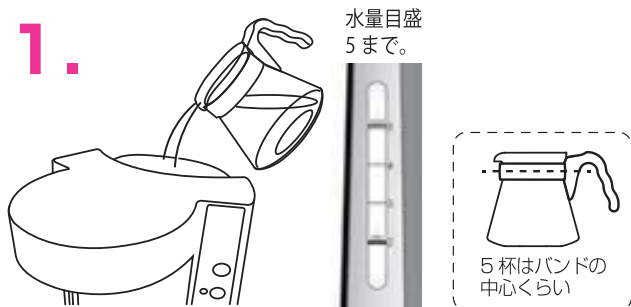
水タンク フタ



■最初に使用するときや、しばらく使用しなかったときには「洗淨運転」を行ってください。

〔洗淨運転〕

1.



水量目盛
5まで。

5杯はバンドの
中心くらい

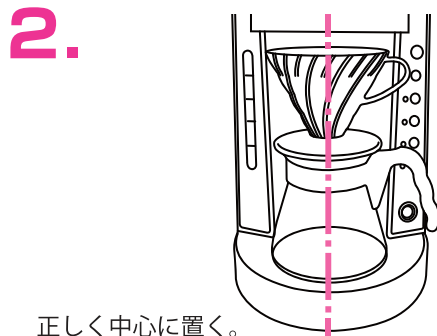
水タンクに水道水を入れる。

水タンクのフタを外し、水量目盛「5」まで水を入れ、フタをしてください。
(付属のサーバーで水を入れる場合、5杯分はバンド中心くらいです。)

●新鮮な水道水を入れてください。

⚠最大容量は5杯分です。水量目盛「5」を超えないでください。入れ過ぎると背面のオーバーフロー口より外にこぼれます。

2.



正しく中心に置く。

サーバーとドリッパーを本体にセットします。

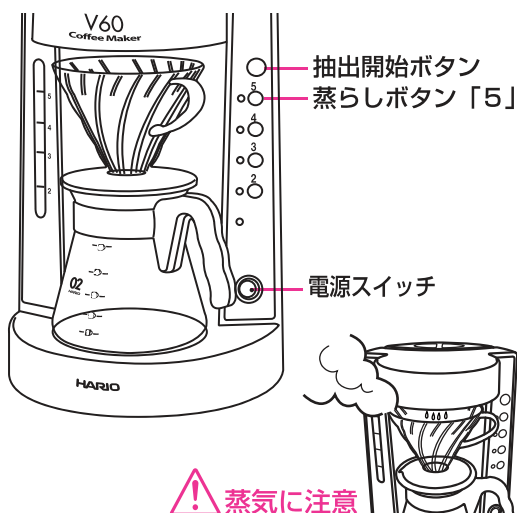
ペーパーとコーヒー粉は入れずにサーバーとドリッパーをセットします。

●サーバーは保温プレートの上に正しくセットしてください。

⚠サーバーのフタは必ず取ってご使用ください。

⚠サーバーを置いていない、または中心に置かれていないと、熱湯が外にこぼれ出てやけどをする恐れがあります。

3.



抽出開始ボタン
蒸らしボタン「5」

電源スイッチ

⚠蒸気に注意

①電源スイッチを入れる。

②蒸らしボタン「5」を押す。

③抽出開始ボタンを押す。

※このボタンを押さないと、抽出が開始されません。

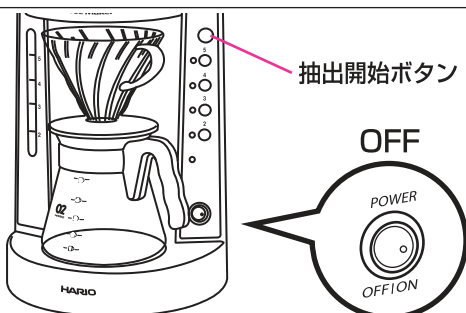
しばらくするとポコポコという沸騰音と共に注湯が始まります。はじめはお湯が少量出て止まり、30秒ほどたつと再度お湯が落ち始めます。「ピー・ピー・ピー」とアラームがなるとタンクの水がなくなり注湯が終了します。

⚠抽出口からは高温の蒸気が出ます。抽出口に顔や手を近づけないでください。

⚠注湯中は水タンクのフタを開けないでください。

⚠保温プレートは高温になりますので手を触れないでください。

4.



抽出開始ボタン

OFF

POWER

OFF/ON

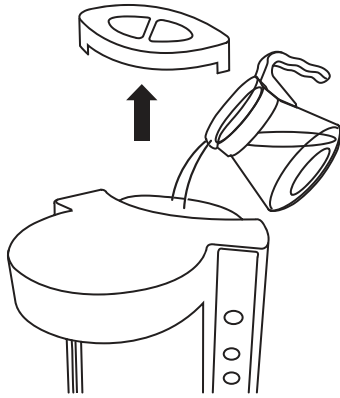
電源を切り、お湯を捨てる。

運転が終わったら、抽出開始ボタンを押してから、電源を切ってください。

⚠続けてコーヒーを抽出するときは、電源を切り5分以上待ってから次の抽出をしてください。本体が熱いうちにタンクに水を入れると蒸気が噴出しやけどのおそれがあります。

ご使用方法

1.



水量目盛を見ながら。



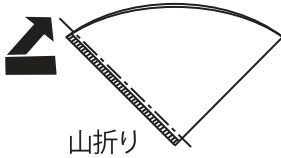
水タンクに水道水を入れる。

水タンクのフタを外し、水量目盛を見ながら淹れたい杯数分の水を入れます。5 杯分を抽出する場合は、水量目盛「5」まで入れてください。

- 付属のサーバーで水を入れる場合、5 杯分はバンド中心くらいです。サーバーの容量目盛を目安にご利用ください。
- 新鮮な水道水を入れてください。ミネラルウォーターやアルカリイオン水は本体内部に石灰分が付きやすくなる為お勧めできません。使用した際はこまめにお手入れしてください。(P12 石灰分の除去について)

- ⚠ 使用中は必ず水タンク フタをしてください。
- ⚠ 最大容量は 5 杯分です。水量目盛「5」を超えないでください。
- ⚠ 水タンクに水を入れすぎた場合は、スプーン等ですくい出すか、本体を少し傾けて、背面のオーバーフロー口 (P7 各部の名称) から出してください。

2.



山折り



ペーパーを折りドリッパーにセットする。

ペーパーフィルターのチャック部 (点線部) を折り曲げ、ドリッパーの内部にぴったりとセットし、サーバーの上にのせます。

- ⚠ サーバーのフタは必ず取ってご使用ください。

3.



コーヒー粉は平らにすることでより均一な抽出ができます。

コーヒー粉を入れる。

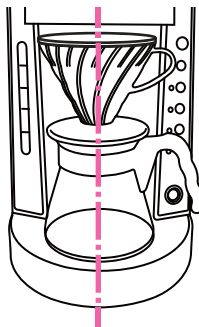
杯数分のコーヒー粉を入れます。入れたらコーヒー粉はすこしゆすって平らにします。

付属の計量スプーンですりきり 1 杯がコーヒー 1 杯分です。5 杯分の場合はすりきり 5 杯入れます。

- 計量スプーンのスりきり 1 杯は約 8g です。お好みのコーヒーの濃度により粉の量を調整してください。薄めに抽出したいときは計量スプーン の 7g や 6g のラインを目安に入れてください。(P.11)
- コーヒー粉は中細挽きをお使いください。

- ⚠ コーヒー粉は 50g 以上入れないでください。多すぎると抽出中にドリッパーから溢れ出す恐れがあります。
- ⚠ コーヒー粉を入れたドリッパーは、サーバーの中心に置いてください。

4.



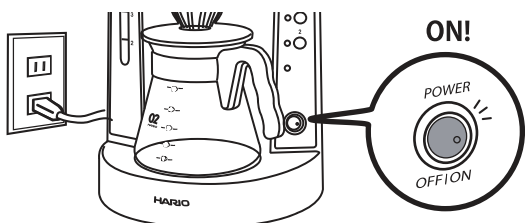
正しく中心に。
サーバーとドリッパーを中心におくことでお湯がコーヒー粉に均一にかかります。

サーバーとドリッパーを、本体にセットする。

ドリッパーを載せたサーバーを静かに本体の保温プレートの上に載せます。

- ⚠ サーバーは保温プレートの中心に正しくセットしてください。サーバーを置いていない、または中心に置かれていないと、熱湯が外にこぼれ出てやけどをする恐れがあります。

5.

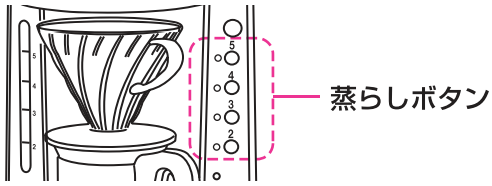


電源スイッチを入れる。

電源プラグをコンセントに入れ、電源スイッチを ON にします。

- ⚠ 定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。

6.

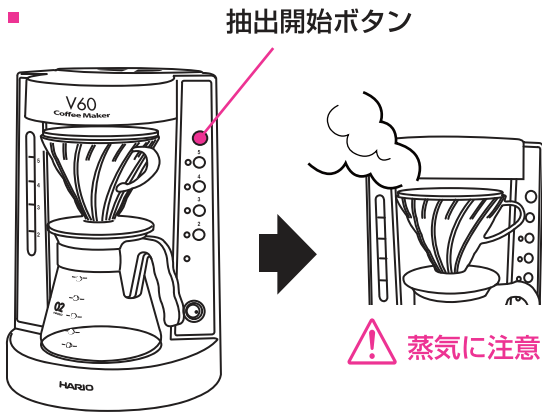


蒸らしボタンを押す。

水タンクに入れた水量と同じ杯数の蒸らしボタンを押します。5杯の場合は、「5」の蒸らしボタンを押します。

※ これは杯数による蒸らしの湯量と時間を設定するボタンです。

7.



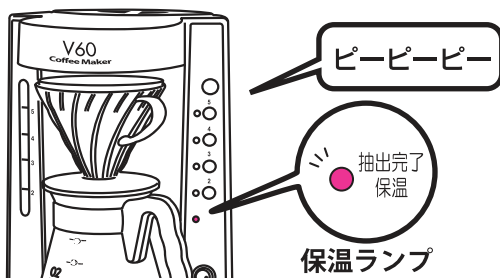
抽出開始ボタンを押す。

抽出開始ボタンを押すとグリーンランプが点滅します。しばらくすると、ポコポコという沸騰音と共に少量のお湯が出て、コーヒー粉を蒸らします。30秒間止まった後、再度お湯が落ち始め、抽出が始まります。

- ⚠️ 抽出口からは高温の蒸気が出ます。注湯中は、タンクのフタを開けたり、抽出口に顔や手を近づけないでください。
- ⚠️ 保温プレートは高温になりますので手を触れないでください。また、お子様の手の届く場所では使用しないでください。

- 抽出開始ボタンを押した後でも、蒸らしボタンの杯数を変更することができます。その際は、再度、抽出開始ボタンを押してから、ご希望の杯数の蒸らしボタンを押し、抽出開始ボタンを押してください。

8.



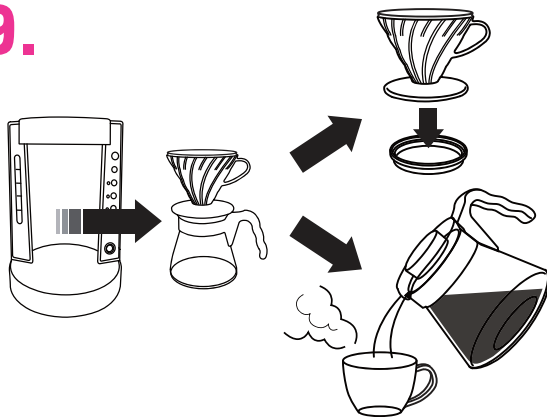
抽出終了のアラームが鳴ります。

「ピー・ピー・ピー」とアラームがなると抽出終了です。抽出が終わると、保温ランプが点灯し保温モード（保温プレートが加熱する）になります。

- 保温プレートの保温時間は 30分間です。30分を過ぎると自動的に保温ランプが消え、保温モードが終了します。

⚠️ 保温プレートは高温になりますので手を触れないでください。

9.



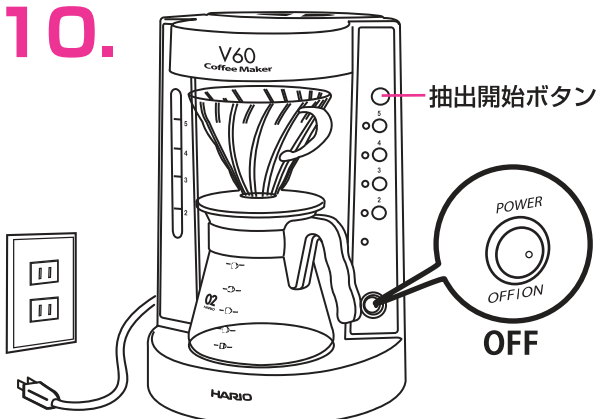
本体からサーバーを外しコーヒーを注ぐ。

ドリッパーを落とさないようにサーバーを本体からゆっくり外してください。使用後のドリッパーは、ドリッパー受けに置き、コーヒーをカップに注いでください。サーバーに残ったコーヒーは、フタをして保温プレートにのせてください。

⚠️ 抽出したコーヒーは、大変高温になっています。お召し上がりの際にやけどをしないようご注意ください。

- 時間の経過と共に、コーヒーの味と香りは損なわれます。なるべく早いうち（30分以内）にお召し上がりください。
- 保温プレートの加熱時間は 30分間です。コーヒーの温めなおが必要な場合は電子レンジをお使いいただけます。

10.



保温モードが終わったら電源を切る。

保温ランプが消えたら抽出開始ボタンを押してから、電源を切ってください。

⚠️ 続けてコーヒーを抽出するときは、電源を切り5分以上待ってから次の抽出をしてください。本体が熱いうちにタンクに水を入れるとタンクから蒸気が噴出しやけどのおそれがあります。

⚠️ 保温モードを途中で終わらせたいときは、抽出開始ボタンを押し、保温ランプが消えたことを確認してから電源スイッチをOFFにしてください。（抽出開始ボタンには「リセット」の動きがあります。）

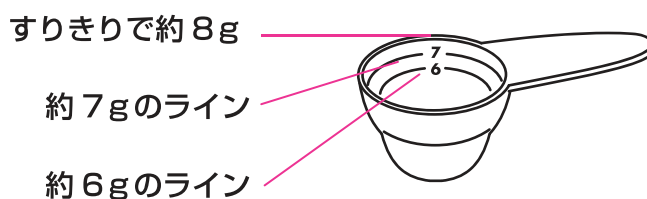
⚠️ 保温プレートは、電源を切った後もしばらく高温になっています。絶対に手を触れたりしないようご注意ください。

使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご使用方法

■計量スプーンについて

コーヒー粉を計る際の目安にしてください。



■出来上がり量について

コーヒー粉と水量、出来上がり量は下記のような関係になっています。抽出濃度を調整する際の目安にしてください。

⚠️ タンクに入れる水の量は 300ml ~ 750ml でご使用ください。

杯数	コーヒー粉の量 (すりきり 8g)	タンクに入れる水の量	蒸らしの湯量	コーヒーの 出来上がり量	所要時間の目安
5 杯分	40g	 5 750ml	75ml	一杯分 120~130ml 650ml	抽出開始ボタンを押してから抽出終了まで。 8分30秒
4 杯分	32g	4 600ml	60ml	520ml	7分10秒
3 杯分	24g	3 450ml	45ml	390ml	6分00秒
2 杯分	16g	2 300ml	30ml	260ml	5分00秒

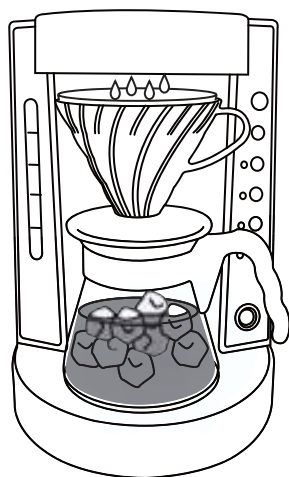
* コーヒーの出来上がり量はコーヒー粉に吸収される分、多少減少します。
* 水温や気温により異なります。

■アイスコーヒーを作るとき

アイスコーヒーを作るときは、アイスコーヒー用のコーヒー粉を使用し濃い目に抽出してください。作り方はホットコーヒーを作る場合と同様ですので P.9、10 をご参照ください。サーバーに氷を入れて抽出すると溢れ出す場合があります。氷を入れたグラスを用意して、濃い目に抽出したコーヒーを注いでください。



⚠️ サーバーに氷を入れて抽出しないでください。コーヒーがあふれ出す恐れがあります。



グラスに氷を入れて注いでください。



お手入れのしかた



ドリッパー



ドリッパー受け



計量スプーン



水タンクフタ

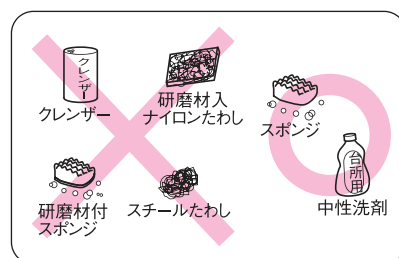


サーバー ……………

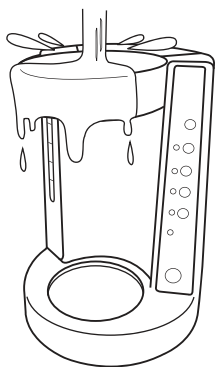
やわらかいスポンジに中性洗剤を使用し水洗いしてください。

食器洗い乾燥機のご使用ができます。ご使用の際は、お手持ちの食器洗い乾燥機の取扱説明書をよくお読みください。

! やわらかいスポンジでも、右図のようにクレンザーやガラスに傷のつく研磨材、または研磨粒子がついているスポンジなどは使用しないでください。思わぬときに破損する原因となります。



● 汚れのひどいときは「家庭用漂白剤」を薄めてご使用ください。その際「家庭用漂白剤」の取扱注意事項を必ずお守りください。漂白後は十分に水洗いしてください。



本体 …… ! 水洗いできません。

本体表面の汚れは湿った布で拭いたあと、乾いた布でふき取ってください。

! お手入れは必ずスイッチを切りプラグを抜いて、十分に冷えてから行ってください。

! シンナー、ベンジン、除光液、ミガキ粉、たわしなどは使用しないでください。変形、変色、傷などの原因になります。

石灰分の除去について

使っているうちに内部の給湯パイプ・切り替え弁などに湯アカ（水の中の石灰分）が付着しお湯の出がわるくなったり抽出スピードが遅くなります。使用頻度にもよりますが、3ヶ月～半年に一度くらいを目安に、クエン酸洗浄をしてください。

クエン酸洗浄



- ①サーバーの600の目盛まで水を入れ、クエン酸を10g（大さじ1杯）加えてよく混ぜ、クエン酸水を作る。（クエン酸の替りに、大さじ1杯分のお酢を入れてもよい。）
- ②水タンクに、作ったクエン酸水を入れる。
- ③ドリッパーとサーバーを本体にセットする。（ペーパー、コーヒー粉は入れません。）
- ④電源を入れて、蒸らしボタン「4」を押し、抽出開始ボタンを押す。
- ⑤終わったらサーバーの水は捨て、5分以上たってから水だけで洗浄運転（P8）をする。（クエン酸のニオイを取るため。）

ガラス製サーバーのお取り扱い

■サーバー（耐熱ガラス製）は、電子レンジでの温め直しにご使用いただけます。

お取り扱い上の注意

- ⚠ 直火にかけられません。
- ⚠ ガラスは割れるものです。洗浄やご使用時はていねいにお取り扱いください。
- ⚠ お子様に使用させないでください。また、幼児のそばで使用したり、幼児の手の届く所に置かないでください。
- ⚠ 取っ手部分とガラス本体は分解できない構造になっております。危険ですので、絶対に分解しないでください。万が一取っ手の合わせ目が開いた場合は、使用しないでください。

- ヒビ、欠け、強いスリ傷の入ったものは、思わぬときに破損することがありますので、使用しないでください。
- ガラス器の内面を、金属スプーンなどで強くたたいたり、強くこすったりしないでください。破損の原因になります。
- ガラス本体が熱いうちにぬれた布でふれたり、ぬれた台の上に置くと、急激な温度変化により破損する場合があります。おやめください。
- 破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。
- 廃棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。



電子レンジ



直火



突沸に注意



ヒビ、カケ



たたく



ぬれた布



ぬれた台

電子レンジでのご使用上の注意

- ⚠ 突然一気に沸騰して液体が激しく吹き出す恐れがあります（突沸現象）。電子レンジから取り出す際は顔などを近づけないでください。
 - ⚠ ご使用の際は、お手持ちの電子レンジの取扱説明書をよくお読みください。
 - 突沸現象については、弊社ホームページ www.harrio.com をご参照ください。
 - 外側の水滴は拭き取ってから電子レンジに入れてください。
 - 空だきや中身が少ない状態で使用しないでください。
 - 電子レンジ加熱後は熱くなりますので、持ち運びの際は、なべつかみなどを使って器全体や取っ手を持ってください。また、ビニール製のテーブルクロスなど、熱に弱いものの上には置かないでください。台に置く際は必ずなべしきなどをご使用ください。
 - オープンレンジの自動メニューの自動メニューキーで電子レンジ加熱する際は、オープン機能が作動しないことを確認してお使いください。フタがとける危険があります。
- ※V60コーヒースerver 700 (VCS-02)は電子レンジ庫内の高さが15cm以上の電子レンジに対応しております。

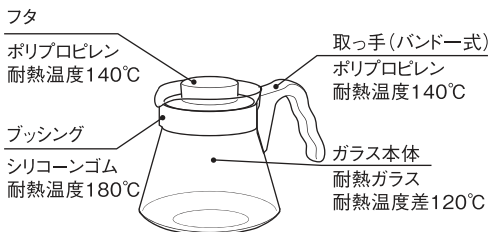


水滴



持ち運びは全体を取っ手を持って

材質のご案内



家庭用品品質表示法による表示

品名	耐熱ガラス製器具
使用区分	電子レンジ用
耐熱温度差	120℃

取扱い上の注意

- 調理の時は外側の水滴をぬぐい、途中で差し水をする時は冷水をさけ、またガラスの部分が熱くなっている時はぬれた布でふれたり、ぬれた所に置かないで下さい。
- 空だきをしないで下さい。
- 洗う時は、研磨材入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。
- 使用区分以外には使用しないで下さい。

HARIO 株式会社

〒103-0006東京都中央区日本橋富町9-3

電子レンジでの加熱時間の目安

(20℃→75℃への目安時間)

ワット数	V60コーヒースerver 700 温める量 約700mlのとき
500W	約6分半
600W	約5分半
700W	約4分半

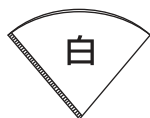
※加熱のしすぎにはご注意ください。

※加熱時間は電子レンジの機種やコーヒーの温度、量などによって異なりますので加減してください。

アフターサービスについて

ペーパー、スペアパーツ（部品）のお求め

V60 円すい型ペーパーフィルター、ガラス製サーバー、ドリッパー、計量スプーンは別売りしております。お買い求めの際は、コーヒーマーカーをお求めになったお店にお問い合わせいただくか、弊社通信販売（お問い合わせ先 P.14）をご利用ください。



白

V60 用 ペーパーフィルター 02W
品番：VCF-02-40W（白/40枚入り）
※本製品（EVCM-5）セット品

V60 用 ペーパーフィルター 02M
品番：VCF-02-40M（茶/40枚入り）



茶

V60 用 ペーパーフィルター 02W
品番：VCF-02-100W（白/100枚入り）

V60 用 ペーパーフィルター 02M
品番：VCF-02-100M（茶/100枚入り）



V60 透過ドリッパー 02 クリア T
品番：VDT-02T（PCT樹脂製）
※本製品（EVCM-5）セット品

V60 透過ドリッパー 02 クリア
品番：VD-02T（AS樹脂製）



V60 コーヒースerver 700
品番：VCS-02



計量スプーン
品番：M-8

*ペーパーフィルターは円すい型の「V60 用ペーパーフィルター 02」をお求めください。紙のタイプは「白」と「茶」があり、どちらもお使いいただけます。

初めに読んでいただきたい事項

V60 Coffee Maker

V60 コーヒーメーカー
EVCM-5

★珈琲王を長くご利用いただく為に

「クエン酸洗浄」をお願いします。

クエン酸の代わりに、お酢を使っても洗浄できます。

洗浄の目安は、3ヶ月～半年に1度ですが、ご使用される頻度が多い場合は、

2ヶ月に1度 程度行ってください。

クエン酸洗浄の仕方については、取扱説明書P12をご参照ください。

パイプ内部に水垢・ミネラル、石灰分等が付着すると動作異常を起こすことがあります。

※石灰分等の付着によりパイプ内部の水の流れが悪くなったことが原因で、タンク内に水が残ったまま抽出完了ランプ点灯又はエラー表示[※]となる場合があります。

その際は、通常よりも多めのクエン酸(大さじ2杯程度)を、水を入れたサーバに溶かし、2回程度のクエン酸洗浄を行ってください。

【注意】・水タンクには、直接クエン酸を入れないで下さい。固まり目詰まりの原因になります。

・本製品は家庭用コーヒーメーカーです。業務用ではありません。

★故障かな? エラー表示[※]が出たときの対処方法

※エラー表示: すべてのランプが点灯し、アラーム音が鳴る。

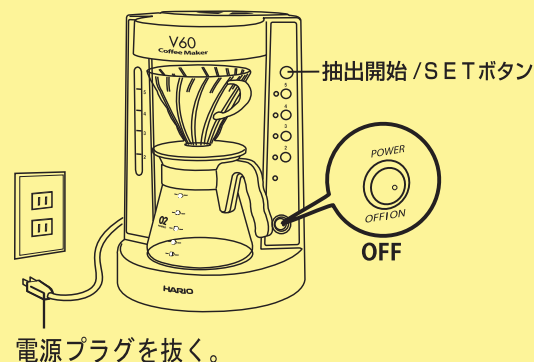
--- こんな症状があるときは ---

- ・前回まで使えていたのに、突然エラー表示がでるようになってしまった。
- ・取扱説明書通り、抽出開始 / S E T ボタンを押し再度電源を入れてもエラー表示が解消されない。

---- 対処のしかた ----

まずは抽出開始 / S E T ボタンを押し、電源をOFFにしてから、一度電源プラグを抜いてください。その後5分以上経過し、本体が冷めてから、電源プラグを入れなおしてご使用ください。

※「故障かな?と思ったら」は取扱説明書P14をご参照ください。

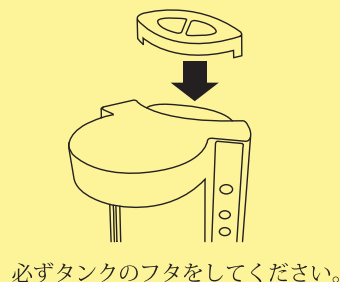


★水タンクへは水以外入れないでください。

本体の上にドリッパーなどをのせないでください。

コーヒー粉や異物がタンクに入り、故障の原因になります。

水タンクは、必ずフタをしてお使いください。



★本体は樹脂製の為、ご使用中に樹脂の臭いがする場合がありますが人体に影響はありません。

ご相談窓口・総発売元

HARIO株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 9-3
フリーダイヤル: 0120-39-8208

930028 EVCM-5 1312

HARIO